

ウニ殻ランプできた

高浜小 アレンジも考える



ウニの殻に接着剤を塗りLEDを付ける児童＝21日、高浜小

高浜小が考案し、商品化にもつなげたムラサキウニの殻を使ったランプ「UNI-KARA(うにから)」の製作が21日、同校で行われた。ランプのさらなる魅力アップへ児童は製作を通しアイデアを練った。ランプは、魚が隠れ産卵に使う藻場を荒らすムラサキウニを利活用しようと同校が考案。昨年度の6年生が、地元のみちづくりグループ「高浜明日研究所」と今年3月に完成させた。町内のシーフードマーケット「UMIKARA」(うみから)で販売し、7月までに約500個を売り上げ好評を得ている。本年度は5年生が製作を引き継ぎ、ランプにアレンジを加え今秋の新商品完成を目指している。児童29人が約200個のウニの殻を使いランプ作り挑戦した。殻の裏側に接着剤を塗り発光ダイオード(LED)を付けた後、包装して箱詰めしロゴマーク入りのシールを貼り付けた。

した。新商品へは「貝殻をランプに飾り付けたらどうか」「製作キットを販売したらどうか」とユニークなアイデアを考える子もいた。櫻井菜さんは「多くの手に取ってもらえるよう、色をもっと少し明るめにした工夫できた」と話していた。(石川悠樹)